— Activity Report —　Vol.65

地域おこし協力隊活動日記

KUNIMI_HALU



小学部を担当する伊佐さん



授業の様子

こんにちは！地域おこし協力隊２年目の伊佐と申します。

国見町公営塾「放課後塾ハル」の小学部を担当しています！

昨年よりもイベントや地域交流を通して町民の方々と関わる機会が増えてきました。

出会いを大切にしながら過ごせる日々にありがたみを感じております。

放課後塾ハル小学部では昨年度よりも倍の塾生が在籍してくれています。

今年の国見夏まつりにも参加させていただき、企画から準備、当日の運営まで一人一人が最後までやりきることができました。日々の授業、そしてイベントを通して学んだことを次に活かし、子どもたちが成長していく様子を町民の皆様にも見ていただきたいです！

子どもたちの活動から、「自分には何ができるのか」を考えるきっかけになればと思います。

これからの塾生の活躍に乞うご期待！

令和８年度 国見町定住支援事業「９２３＋（くにみたす）」のご案内

国見町定住支援事業「９２３＋（くにみたす）」がスタートしました。「９２３＋（くにみたす）」は、「国見でもっと満たされる暮らしを。」の願いを込めて、情報発信や交流イベントを通して、人と人とのつながりづくりを応援する取り組みです。「９２３」は国見（くにみ）の語呂合わせ。そして「＋」（たす）には、国見での暮らしにプラスとなる情報や体験を届けたいという思いを込めています。

知る　国見町公式 Instagram にて、お役立ち情報を発信します　町 Instagram

参加する　人と人のつながりづくりとして、11 月と来年 2 月にイベントを開催します！初回は芋煮会です

つながる

観月台文化センターにて「９２３＋町民交流芋煮会（屋内）」を開催します

■開催日時　11 月 22 日㊐　午前 11 時から午後 2 時　参加費 500 円（小学生以下無料）

片方のみの参加も可能です

前半【芋煮をつくる会】午前 11 時から午後 1 時（申込者限定・先着順）

後半【芋煮を食べる会】午後 1 時から午後 2 時（食数に限りあり。申込推奨）

■申込方法　右の申込フォームから、詳細をご確認の上、お申込みください
フォーム申込が難しい方は、以下メールまたは電話までお問合せください

■問合せ先　mail　923tasu@gmail.com ／ ☎ 024-585-2217（国見町 企画調整課 総合政策係）

申込フォーム
https://forms.gle/7LrWYRNKGCRWYR9j9

国見町は、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」を進めています。このコーナーでは町や地域が行っている取り組みについて、毎月お伝えしています。

【あつかし歴史館　☎ 585-4520】
【企画調整課地域振興係　☎ 585-2967】

歴まち さんぽ

～千年の歴史を未来へ～

Vol.113

第 13 回国見町に咲く中尊寺蓮絵画コンクールの入選作品を表彰！

あつかし千年公園に美しく咲いた「中尊寺蓮」や「史跡　阿津賀志山防塁」を題材にした絵画コンクールに 49 点の作品が集まりました。10 月 3 日㊏には、表彰式が開催され、主催する（一社）二重堀サポートワークの氏家理事より厳選なる審査で最優秀賞を受賞された方へ賞状の授与と講評が行われました。受賞者からは喜びの笑顔が溢れました。

10 月 3 日㊏～ 10 月 22 日㊍には、あつかし歴史館にて入選作品の展示を行い、多くの方が素敵な絵画を鑑賞しに訪れました。



▲各部門の最優秀賞受賞のみなさん

子ども太々神楽教室が始まりました！

内谷地区の春日神社に伝わる「太々神楽」を学ぶ小・中学生向けの教室（全 9 回）が 9 月 5 日㊏より開催されています。

大人や先輩たちから明治時代より続く神楽を直接学ぶことができる貴重な機会であり、約 18 名の子どもたちが太鼓や笛、舞を練習しています。

11 月 1 日㊐には、国見町文化祭での発表を予定しており熱心に学ぶ子どもたちの様子が見られました。



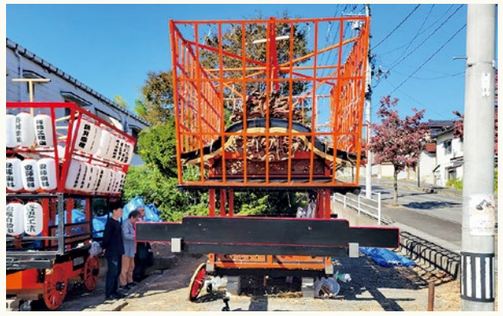
▲熱心に練習する子どもたち

（公財）東邦銀行教育・文化財団の助成金により山車の修繕が行われました！

町指定無形民俗文化財「鹿島神社例大祭」は、今年も神輿と山車の行列が、集落内を渡御し、最終日の土曜日は夜まで宮入りに向かう神輿を挟み、山車がぶつかり合う「もみ合い」が名物となっています。

昨年、車輪と前面のあたり棒が破損した社元組若連の山車は（公財）東邦銀行教育・文化財団からの助成と多くの氏子・協賛団体からの協力により、今年の例大祭開催前に修繕することができました。

今後も国見町の伝統の祭礼を守っていくために様々な取り組みが必要です。



▲修繕された山車